



令和2年度学校評価プラン

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	今後の改善方策	
			評価指標の達成度	評定	総合評価		
2 学習指導の改善	<p>(全体レベル)</p> <p>(1) 生きる力を育むため、基礎・基本の確実な定着を図り自己教育力を高める。</p> <p>(2) 確かな学力の育成を目指し、学習内容の厳選・創造及び指導方法の工夫・改善を行う。</p> <p>(3) 個性の伸長を図り、専門的な知識・技術を習得させ、スペシャリストへの道を拓く。</p> <p>(詳細レベル)</p> <p>①授業時数の確保 ②授業技術の向上 ③各種資格取得の奨励 ④自己学習力の育成 ⑤实际的・体験的な学習の充実・発展</p>	<p>評価指標</p> <p>① 自習率 1.0%以下 (0.89%)</p> <p>② 授業満足度 80%以上 (79.9%)</p> <p>③-1 全商検定3種目以上1級合格者 40名 (18名)</p> <p>③-2 技能奨励賞 60名 (49名)</p> <p>③-3 日商簿記検定2級合格 10名 (7名)</p> <p>③-4 ITパスポート試験合格 1名 (2名)</p> <p>③-5 建設業経理士2級合格 (3月11日試験 5月結果発表) 3名 (*名)</p> <p>④-1 図書館利用者数 3,600名 (3,515名)</p> <p>④-2 一人あたりの年間読書冊数 4.5冊 (4.48冊)</p> <p>④-3 一人あたりの年間貸出冊数 1.8冊 (1.7冊)</p> <p>④-4 図書館通信の発行回数 12回</p> <p>⑤-1 地域連携活動テーマ数 13テーマ (13テーマ)</p> <p>⑤-2 ビジネスアイデアコンテスト参加チーム数 2種4チーム (1種2チーム)</p> <p>企業とのコラボ回数 50回 (50回)</p> <p>⑤-3 市場流通可能な商品開発数 5商品 (5商品)</p> <p>⑤-4 実践的授業の試行 5回 (5回)</p> <p>活動計画</p> <p>① 学校行事の精選を行うほか可能な限り振り替えを行い、授業時数を確保する。</p> <p>② 「学力向上」の実現のため生徒の実態にあった指導及び工夫改善を行う。</p> <p>③ 通常・検定前補習を充実させるほか個人指導を効果的に実施。</p> <p>④-1 図書委員を通じたホームルームでの広報活動や、イベントの企画を行い、入館しやすい図書館作りに努める。</p> <p>④-2 各教科と連携し、図書館の利用を推進する。</p> <p>④-3 「ミニ・ビブリアバトル」「図書館祭」「POP作成」等を充実させ、広く啓発活動を行う。</p> <p>④-4 「図書館通信」が生徒に身近に感じられるよう工夫を凝らす。</p> <p>⑤-1 地域社会や企業等と連携した教育活動の実施</p> <p>⑤-2 ビジネスアイデアコンテストへの参加 課題研究における活動の実施 企業との連携による学習活動の実施</p> <p>⑤-3 地域企業との連携による商品開発の企画及び実施</p>			(所見)		
		<p>活動計画</p> <p>① 学校行事の精選を行うほか可能な限り振り替えを行い、授業時数を確保する。</p> <p>② 「学力向上」の実現のため生徒の実態にあった指導及び工夫改善を行う。</p> <p>③ 通常・検定前補習を充実させるほか個人指導を効果的に実施。</p> <p>④-1 図書委員を通じたホームルームでの広報活動や、イベントの企画を行い、入館しやすい図書館作りに努める。</p> <p>④-2 各教科と連携し、図書館の利用を推進する。</p> <p>④-3 「ミニ・ビブリアバトル」「図書館祭」「POP作成」等を充実させ、広く啓発活動を行う。</p> <p>④-4 「図書館通信」が生徒に身近に感じられるよう工夫を凝らす。</p> <p>⑤-1 地域社会や企業等と連携した教育活動の実施</p> <p>⑤-2 ビジネスアイデアコンテストへの参加 課題研究における活動の実施 企業との連携による学習活動の実施</p> <p>⑤-3 地域企業との連携による商品開発の企画及び実施</p>	活動計画の実施状況				

⑤-4 ICTや効果的な教授法等を導入した主体的・能動的な学びの実施

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

[ 令和2年度 学力向上実行プラン ]

		自 己 評 価			学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	【全教科共通】	評定	総合評価
2 学習指導の改善	<p>(全体レベル)</p> <p>(1) 生きる力を育むため、基礎・基本の確実な定着を図り自己教育力を高める。</p> <p>(2) 確かな学力の育成を目指し、学習内容の厳選・創造及び指導方法の工夫・改善を図る。</p> <p>(3) 個性の伸長を図り、専門的な知識・技術を習得させ、スペシャリストへの道を拓く</p> <p>(詳細レベル)</p> <p>①授業時数の確保</p> <p>②授業技術の向上</p> <p>③各種資格取得の奨励</p> <p>④自己学習力の育成</p> <p>⑤実際の・体験的な学習の充実・発展</p>	<p>【全教科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTや効果的な教授法を導入して、生徒の主体的で深い学びを導く</li> <li>(国語)・課題提出率98%以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字検定受検者延べ330人以上</li> </ul> </li> <li>(地歴)・課題提出率95%以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>広い視野に立って物事を考察できるための基礎的知識と学力の定着を図る</li> </ul> </li> <li>(公民)・定期考査得点率60%以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>課題提出率95%以上</li> </ul> </li> <li>(数学)・課題提出率100% <ul style="list-style-type: none"> <li>数学の得意度(1~5)調査で1,2年生平均2.8以上</li> </ul> </li> <li>(理科)・単元毎にICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査得点率65%以上</li> </ul> </li> <li>(保健体育)・救命救命法や妊娠、出産に関する講演会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯体育につながるような運動の基本技術の習得</li> </ul> </li> <li>(芸術)・演奏や作品の発表を2回以上行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>発表では自己評価、相互評価を取り入れる</li> </ul> </li> <li>(英語)・全商英検3級合格80%以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア及びグループ活動を通して主体的に表現する機会を増やし、相互評価する。</li> </ul> </li> <li>(家庭)・課題提出率100% <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTや実験実習を積極的に取り入れ知識の定着を図る</li> </ul> </li> </ul>				(所見) 【全教科共通】
		活動計画	活動計画の実施状況		【全教科共通】	
		<p>【全教科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じた授業法の工夫と教科内外での情報交換と協働</li> <li>(国語)・課題、ノートの点検と評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>漢検の受検準備をサポート</li> </ul> </li> <li>(地歴)・準備物の徹底を図り、机間指導や提出物の点検等を通して学習状況を把握し、個々への指導を充実させる。</li> <li>(公民)・課題、ノートの点検と評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の課題に興味・関心を持たせる。</li> </ul> </li> <li>(数学)・課題、ノートの点検と評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎問題の反復と細やかな指導、グループ学習を行う。</li> </ul> </li> <li>(理科)・視聴覚教材等の計画的利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態把握と問題の精選</li> </ul> </li> <li>(保健体育)・救命法については欠席者にも後日指導を徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>選択種目で自己の課題に応じた取り組みを行わせる</li> </ul> </li> <li>(芸術)・個々の生徒の段階に応じた指導を行い、サポートする。</li> <li>(英語)・電子黒板を利用し効率的に情報を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の活動への指導と支援</li> </ul> </li> <li>(家庭)・課題の点検と評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用し、実験実習を5/10以上取り入れる。授業の学びが実生活に繋がる指導を行う。</li> </ul> </li> </ul>				

令和2年度学校評価プラン

重点課題	重点目標	自 己 評 価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評 価			
3人権教育の徹底	(全体レベル) (1) 人権尊重を基盤とする普遍的な視点をすべての学校教育活動に位置づけた人権教育を推進する。  (2) これまでの成果を踏まえ、具体的な人権課題に即した個別的・普遍的なアプローチによって人権尊重の理念を深めるとともに、課題解決に向けた実践的な意欲や態度を培う。  (3) 学校、家庭及び地域社会と連携を図り、生徒の自主的活動を支援する中で、人権意識の高揚と人権問題を解決する実践力を養う。  (詳細レベル) ①教職員の人権意識の高揚を図る研修の充実 ②生徒の主体的な活動を促すホームルーム活動の創造 ③生徒の自主活動の活性化	評価指標 ① 教職員人権研修の実施回数 4回(4回)	評価指標の達成度  評定  総合評価	(所見)		
		② 人権問題ホームルーム活動の充実。具体的な個人人権課題に関する人権学習の実施回数 4回(4回)				
		③-1 人権に関する研修会(校外)への人権部の参加回数 1回(1回)				
		③-2 人権部員による全校生徒への人権啓発校内放送 5回(4回)				
		③-3 女川小学校支援活動実施回数 2回(2回)				
		活動計画 ① 全教職員の人権意識高揚に向けた研修会の実施  ② 教職員の人権感覚を高揚させるための人権関係の資料作成  ③-1 校外で行われる中高生による人権研修会への参加促進 ③-2 人権部員による全校生徒への人権啓発活動の実施 ③-3 女川小学校支援の積極的参加と支援活動報告	活動計画の実施状況			



令和2年度学校評価プラン

重点課題	自己評価	評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価指標の達成度	評定		
5 進路指導の充実	(全体レベル) (1) 自己の特性を理解させ、自らの在り方・生き方を考えさせる進路指導の充実を図る。 (2) 望ましい勤労観・職業観を育成し、生徒の希望・能力・適性に合った進路の実現を図る。 (3) 進路開拓を推進し、進路先の確保に努める。 (詳細レベル) ① 進路指導のガイドライン設定と教職員への周知 ② 進路説明会の開催と進路相談の計画的な実施 ③ ICTを活用した進路情報の確実な伝達 ④ 個別指導の充実 ⑤ 個性・能力の伸長と適切な進路サポート ⑥ 求人獲得と職場開拓	<b>評価指標</b> ① 対教師ガイダンス・研修会実施回数 21回 (21回) ② 校内進路説明会・相談会実施回数 25回 (25回) ③-1 進路資料室の利用クラス 45クラス (40クラス) ③-2 全学年新聞週課題 年間 15回 新聞日誌 年間 113日 ④ 進路決定に対する満足度 96% (96.0%) ⑤ 補習実施率 100% (100%) ⑥-1 訪問企業数 235社 (235社) 会社見学 75社 (75社) 生徒 140名 (140名) ⑥-2 就職内定率 100% (100%)			(所見)	
		<b>活動計画</b> ① 各学年と就職課・進学課との情報交換会を実施 教師対象の進路研修会・勉強会の企画・実施 ② 校内進路説明会・相談会を計画的に実施 外部講師による就職講演会の実施 ③-1 利用しやすい進路資料室作りの実施 生徒・担任・保護者への迅速かつ正確な情報伝達 ③-2 読解力・表現力向上のための新聞を使った活動の導入 ③-3 3年生各クラスごとにDVDによる面接指導 ④ 進路実現に向けて生徒の意識づけをするガイダンスを実施 ⑤ 早朝補習の実施 ⑥-1 求人獲得とミスマッチ防止を図るための企業訪問を実施 ⑥-2 進路指導における最重要課題に位置づけ、本校の教育活動の全体を通じて展開	活動計画の実施状況			

【備考】 評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成







	演会等により、自らがより国家を 構築する主権者であることに気づ かせ意識を深化させる。			
--	---	--	--	--